

e 学校だより



□□□□

東 雲

□□□□

秦野市立東小学校 令和3年1月6日発行



コロナ下における活動の充実に向けて

謹んで新年のお喜びを申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスの感染拡大が世界的な問題となり、今も予断を許さない状況です。ただ、イギリスなどではワクチン接種が始まり改善に向けた希望の光が見え始めています。

このような中、新学期がスタートしました。今年度は数々の答えの見えない問題に向き合っ
てまいりましたが、引き続き「人を大切にし、学校は安心安全を心がけて、主体的に学ぶ子に」
をめざして、次のことに留意し一日一日を大切にしていきたいと思います。

「ひ」人を大切にし → 寄り添いながら

- 思いやりのある子に ○やさしく接する子に
- 違いを尊重する子に（苦手なことや人と違うところを違いとして尊重する子に）

「が」学校は安心安全を心がけて → あたたかく、やさしく

- 感染防止、健康安全を第一に ○心理的安全の場に
- 失敗しながら「していいこと」を学ぶ場に
- お互いに認め合い注意しあい高めあう場に

「し」主体的に学ぶ子に → 自分をよりよくなる

- 自ら学ぼうとする子に ○自ら伝え合い学びあう子に
- イヤだなと思っても大事だなと思えたらがんばろうとする子

安心安全の中で、人を大切に寄り添いながら、その気にさせる働きかけとなるよう努
めてまいります。保護者の皆様には、コロナ下の教育活動充実のため、引き続き、体調管
理をはじめ、本校の取組についてご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

今日から3学期 引き続き感染防止に注意をしてすごしましょう

本日の放送による始業式では、次のようなお話を子どもたちにいたしました。

「～略～ さて、今年は何年でしょうか。そうです 丑年（うし）ですね。この「丑（うし）」
という字は、実は「紐（ひも）」に通じているとのこと。「ひもを結ぶ」とか「結び合う」など
の意味があるそうです。草木の根っこが「紐」のように結び合い、春を待ちつつ、耐え忍んで
いる様子を表すというのです。（日本十二支学会のHPより）

丑という字の由来のように、新型コロナウイルスの感染が拡大している中ですが、根っこの
ように結び合って感染防止を心がけ（我慢して）、感染状況がよくなっていく丑年にしたいです
ね。

いよいよ3学期がはじまります。人とかかわりを大切にして、今年も引き続き、周りの人
にやさしくしてあげましょう。3学期は1年間のまとめの時期です。これまでの学習や生活を
振り返り、自分で考え 自分の新たな目標に向かってよりよい年にしていきましょう。そして
新型コロナウイルスは依然として警戒が必要です。朝の体温チェック、マスク着用、こまめな
手洗い、ソーシャルディスタンスに引き続き、注意をして過ごしましょう。」